

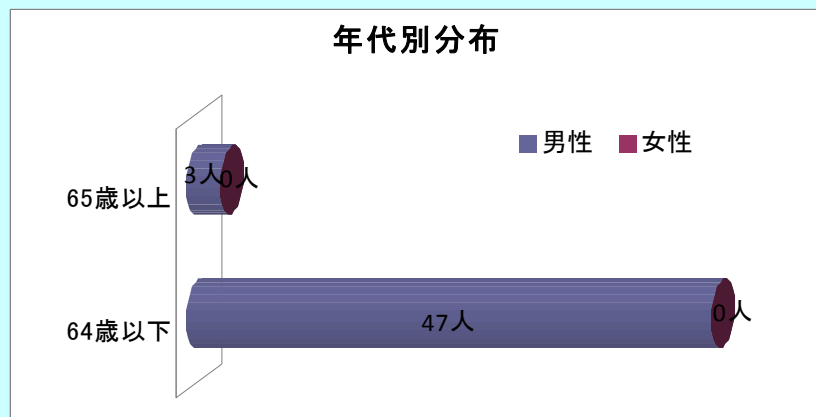
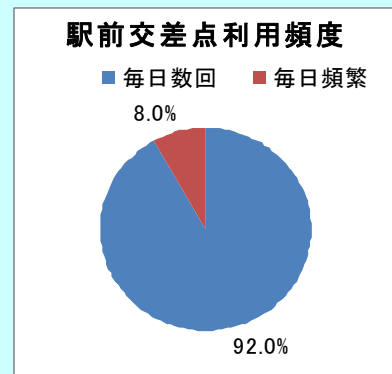
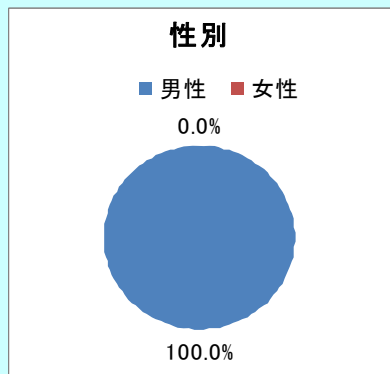
調査の対象・方法

【車両を運転される方への調査】

調査日：平成22年8月27日～平成22年9月6日

調査対象：徳島駅前のタクシー運転手（聞き取り調査）
バス運転手（アンケート調査票を配布後回収）

回答数：タクシー40人、バス10人

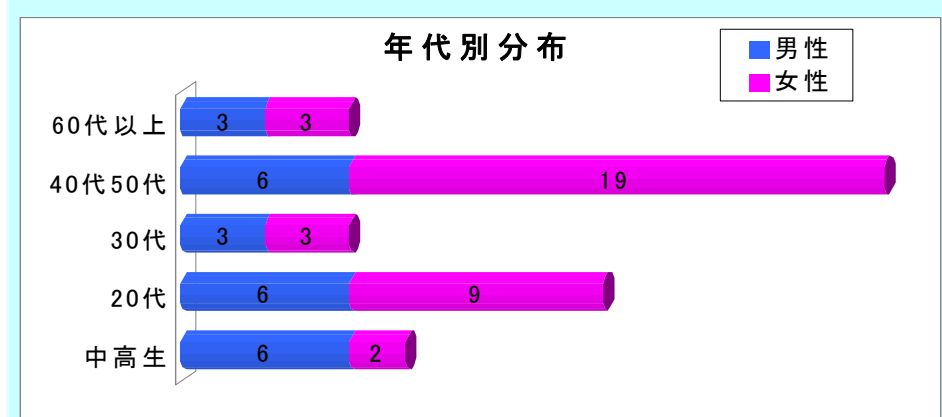
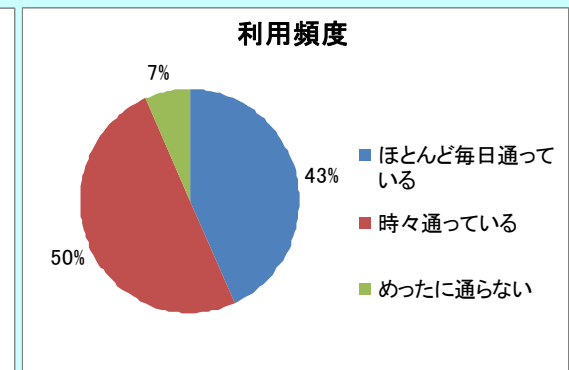
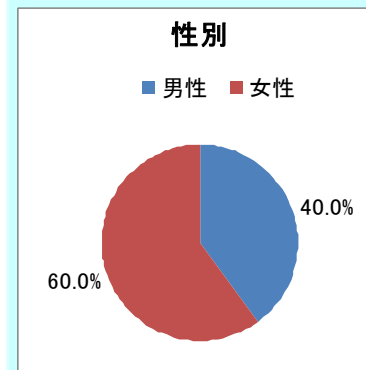


【自転車を利用される方への調査】

調査日：平成22年8月27日

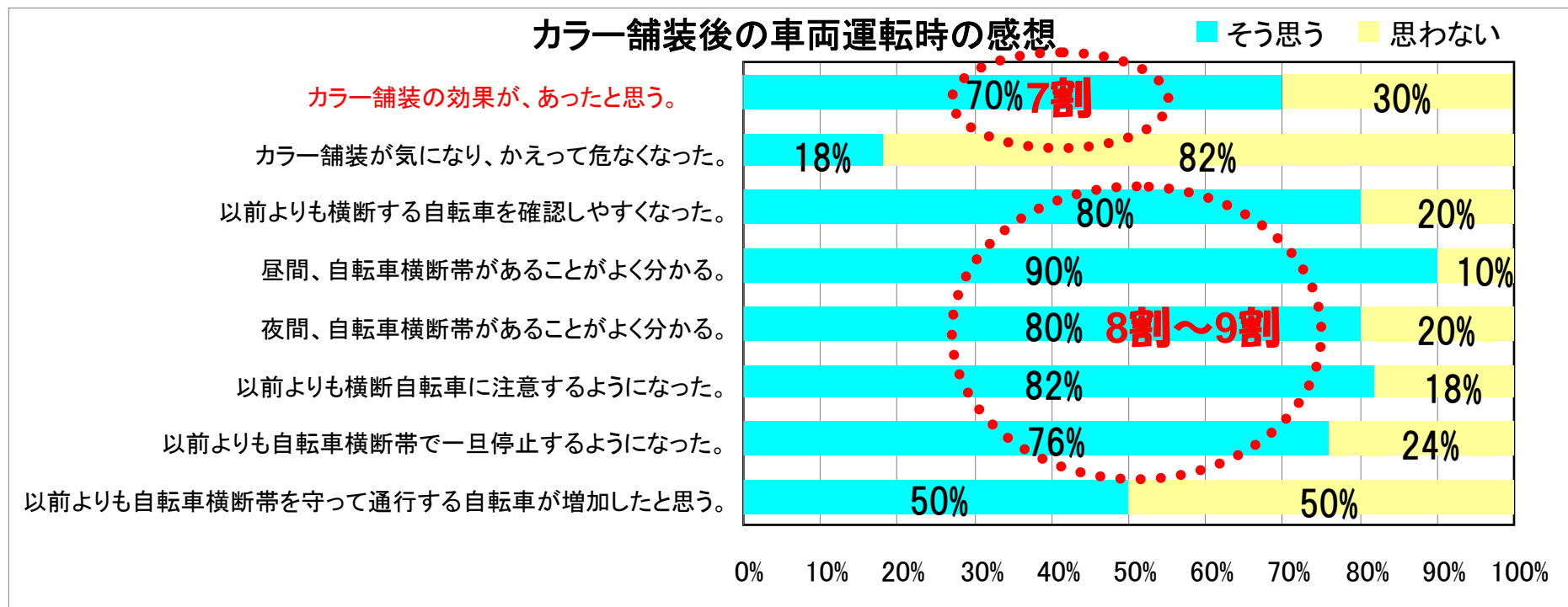
調査対象：国道192号藍場浜・元町・八百屋町交差点を自転車で利用されている方（聞き取り調査）

回答数：60人



車両を運転される方の調査結果（回答数50人）

- 7割の方が「効果はあった」と回答
- 8割から9割の方が、自転車横断帯や自転車の視認性向上等の効果を認識している。

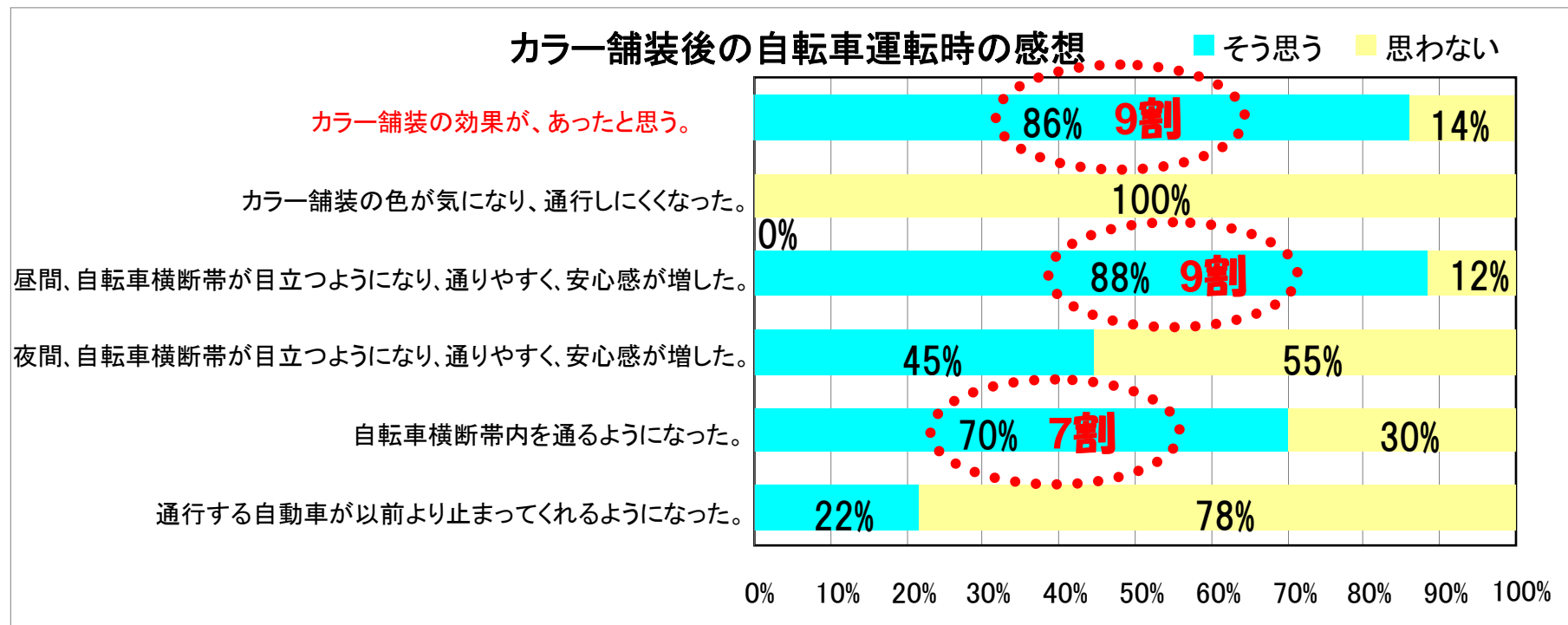


アンケート調査結果の概要(抜粋)

～徳島河川国道事務所～

自転車を利用される方の調査結果（回答数60人）

- 約9割の方が「効果はあった」と回答
- 約9割の方が「昼間、通リやすく安心感が増した。」と回答。
- 約7割の方が「自転車横断体内を通るようになった。」とマナーの向上も確認された。

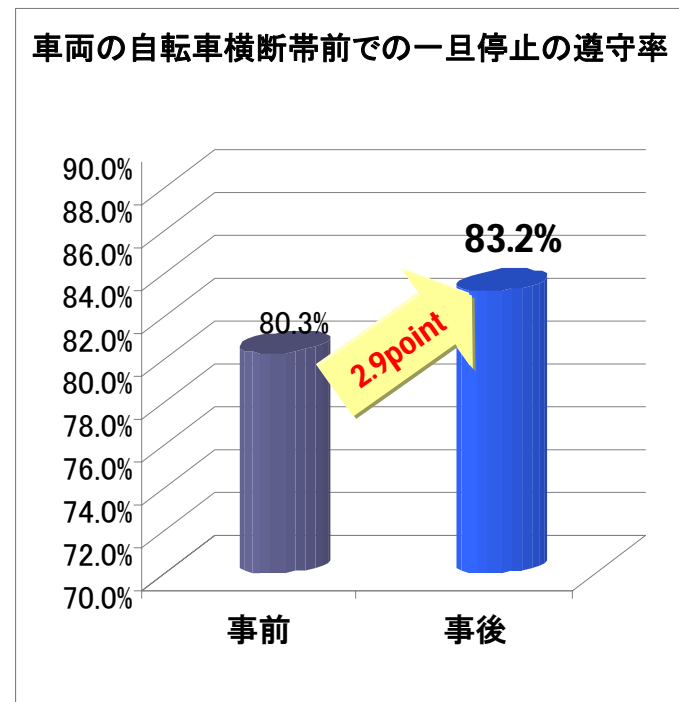
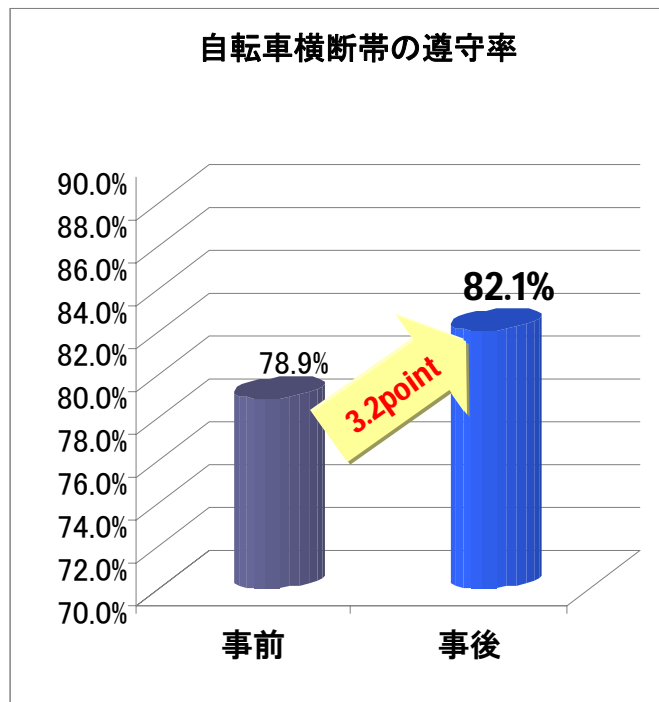


定点調査

○藍場浜交差点において、自転車の横断帯内の遵守率及び車両の横断帯前での一旦停止の遵守率を観測

調査日 : 事前調査 平成22年8月 2日
(カラー化工事は8月2日深夜)
事後調査 平成22年8月26日
測定時間 : 7:00~19:00 (12時間)

調査内容 : 自転車の自転車横断帯内通行状況
車両の自転車横断帯前での一旦停止の停止状況
(横断自転車が無い場合の車両は含まず)



●自転車通行帯利用及び自動車の一旦停止は、観測結果もそれぞれ約3ポイント向上。
マナーの向上効果が確認された。

対策の概要

～徳島河川国道事務所～

○自転車の巻き込み事故防止を目的に国道192号藍場浜・元町・八百屋町交差点の自転車横断帯をカラー化

